

事業計画

I. 基本方針

我が国経済は、昨年を通じて不透明感と混迷が一段と深まる状況が続いた。海外では、終わりの見えないロシアとウクライナの戦争に加え、中東諸国を巻き込んだアメリカとイランの紛争など、地政学的緊張が高まっている。またトランプ政権による保護主義的政策や自国第一主義の再台頭、中国経済の景気低迷の長期化など、世界経済の先行きには依然として警戒感と不透明感が残る。国内では、円安と物価上昇が継続する中、金利が上昇局面に入るなど、経済環境は大きな転換期を迎えた。こうした変化は中小企業・小規模事業者の経営に大きな影響を及ぼしており、金利上昇に伴う資金調達負担、原材料価格高騰、人材確保のための賃金上昇など、多くの経営課題が顕在化している。

当地域においても、中小企業・小規模事業者の人材確保、事業継続、生産性の向上は喫緊の課題である。また、福山市が備後地域の中核都市として持続的に発展するためには、中心市街地の再生・交通結節機能の強化、幹線道路・港湾の整備促進、産業用地の確保など、地域の基盤整備・強化が不可欠である。

こうした中、「政策提言」、「中小企業等の活力強化」、「地域経済の活性化」という三つの使命・役割を担う福山商工会議所においては、

- 現場の生の声に耳を傾けた、会員事業所に寄り添った支援
- SDGs 17の目標を見据えた事業や活動の展開
- 創立100周年に向けた持続可能な福山商工会議所の構築

を基本方針に位置付け、この基本方針を踏まえた次の事項を令和8年度主要事業・活動として位置付けるものである。

- I. 現場の生の声を反映した意見・要望活動
- II. 中小企業・小規模事業者に寄り添った支援の強化
- III. 中小企業の人材・人手確保支援と企業情報の発信強化
- IV. MICE環境の整備と観光振興
- V. 中心市街地の活性化
- VI. 当所運営基盤の充実・強化

「あらゆる変化に柔軟に対応し、改革、挑戦し続ける商工会議所」として、役員・議員・会員・職員が一体となり、「『オール福山』、『バイ福山』で郷土福山を元気にする！」をキャッチフレーズに、郷土福山の持続的発展に向けて事業計画の着実な推進を図る。

Ⅱ．事業内容

1．地域振興のための意見・政策提言活動

当地域の中小企業・小規模事業者の活力強化と地域経済の活性化を目指し、地域の生の声を集約するとともに、行政や関係諸団体との緊密なネットワークを活用しつつ、意見・政策提言活動を行う。

(1) 意見・政策提言活動

①地域経済活性化の観点から、福山道路整備促進や福山港機能強化などの産業インフラの整備促進を国・県・市に対し要望する。また、企業活動の活性化を促す環境を整備するため、税制改正に関する要望に加え社会経済情勢に応じた課題について、現場の生の声を集約し意見・要望活動を展開する。

○一般国道2号福山道路・神辺水呑線整備促進期成同盟会での要望活動

- ・一般国道2号福山道路
- ・神辺水呑線

○福山港並びに尾道糸崎港（松永港）の機能の充実・強化に向けた要望活動

- ・新規航路の開拓・誘致促進
- ・国内外における荷主発掘並びにポートセールス活動の推進
- ・クルーズ客船誘致の推進
- ・カーボンニュートラルポート形成の取組推進

○福山港内港地区埋立促進に関する要望活動

②経済行政懇談会を開催し、当所・福山市・福山市議会が当地域における課題を共有し、活性化策についての意見交換を行うとともに、当所から地域の中小企業・小規模事業者の生の声に基づいた要望活動を行う。

○経済行政懇談会

③景気対策も含めた中小企業・小規模事業者の経営基盤強化のため、税制改正などの諸施策について、日本商工会議所をはじめとする関係団体と連携し、国・県・市に要望活動を行う。

○景気対策、中小企業・小規模事業者対策支援（金融・税制・雇用・規制改革等）に対する建議及び要望

○広島県商工会議所連合会を通じた、「中小企業・地域活性化施策に関する要望」

(2) 他会議所等との連携

- ①日本商工会議所・中国地方商工会議所連合会・広島県商工会議所連合会・備後地域商工会議所会頭会議との連携を通じて、地域諸課題の克服に向けた合意形成を図る。

2. 中小企業・小規模事業者の成長と経営力の強化

物価の上昇やエネルギー価格の高騰など厳しい経済環境の中、中小企業・小規模事業者が事業を継続し発展していくために、デジタル化や新事業進出など自己変革の取り組みを後押しできるように相談体制の強化を図る。

特に、金利上昇、原材料価格高騰、賃金引上げなど、資金繰りに関わる課題が顕在化する中、経営体力が脆弱な中小企業・小規模事業者の資金繰り相談に、関係機関や金融機関と連携を図りながら取り組む。

また、専門知識が必要な相談には、当所内に設置する福山地域中小企業支援センターの専門家相談を活用し事業者に寄り添った支援を展開する。

雇用面では、人手不足・人材不足が常態化し一層深刻な課題となっている。当地域の中小企業・小規模事業者へ地元大学の学生の就業を増やす取り組みや、高等学校の進路指導担当者や中学生・高校生を対象とした企業見学会を実施することで、地域企業への理解促進と就業意欲の向上を図る。

また、各種セミナーの開催、検定試験の施行、パソコン教室の運営を通じて企業が必要とする人材の育成を促進することで、人手不足・人材不足の緩和に努める。特に外国人材は即戦力としてだけでなく、事業の継続や地域経済を支える重要な担い手となっており、当地域の留学生の地元企業への就職促進や、技能実習生・特定技能も含めた外国人材の定着を重視した事業に取り組む。

さらに、経営発達支援計画に基づいた伴走型支援では、小規模事業者の売上拡大に直結する踏み込んだ支援「販路開拓支援事業」に取り組む。

(1) 経営支援

- ①原材料価格高騰や人手不足など厳しい状況に直面する中小企業・小規模事業者に対し、巡回訪問や窓口相談を通じて事業者の生の声を収集し、地域経済の状況を把握する。さらに、個別の経営課題に対しては、経営指導員等が身近な相談相手となり、対話と傾聴を重ね課題やニーズを掘り起こし、融資や補助金・助成金など、国等の各種支援施策を活用し効果的な支援を行う。

また、販路拡大、財務改善、事業承継、デジタル化への対応など中小企業・小規模事業者の経営課題はより個別化し、課題解決に対するニーズは多様化している。専門家の活用、産業支援機関との連携強化により、重層的かつ複合的な支援を展開し、事業者が直面する課題の解決を全力で支援する。

○事業環境の変化に対応するための経営相談体制の強化

○福山地域中小企業支援センターの運営

○福山市産業支援者連絡会議を活用した関係機関との連携強化

- ②当地域の企業を多面的な視点で取り上げ、インターネット上での発信数を増やすことで認知度とイメージの向上を図り、人材確保やビジネスチャンス拡大に資する。

○SDGs普及・啓発推進事業

○働きやすい職場推進企業紹介サイト「就活応援サイト」運営事業

○グリーンな企業プラットフォームの推進

○オンリーワン・ナンバーワン企業紹介ページの閲覧数向上

- ③新たに令和8年3月に認定を受ける「経営発達支援計画（第4期）」に基づき、小規模事業者の経営リテラシーの向上を支援し、事業者自身の自走化に向けた伴走型支援に取り組む。また、令和4年度より継続して実施している「商品開発プロモーション支援事業」を発展させ、伴走型支援により発掘した意欲ある小規模事業者に対し、専門家による商品のブラッシュアップやプロモーション支援、大規模展示会・即売会などへの出展支援を行い、一連の事業を集中的に投入することで、小規模事業者の「稼ぐ力」の向上と、成功事例の創出を目指す。

○「経営発達支援計画」に基づく「伴走型支援」の推進

・販路開拓支援事業

- ④地域を持続的に発展させるため、創業機運を醸成し、創業塾や窓口相談で創業計画策定支援により創業の促進を図る。また、創業フォローアップセミナーの開催などにより、創業後安定した経営を行えるよう伴走型支援を行う。

○創業支援事業

- ⑤中小企業・小規模事業者の販路開拓や生産性の向上を図っていくため、Webマーケティングに関する専門家相談や、当所情報化推進委員会と連携した専門家派遣によるプッシュ型の課題解決や、業務効率化につながるデジタルツールの活用事例を共有する場となる「デジタルツール座談会」を開催する。また、企業防衛の観点からサイバーセキュリティに関する啓発を図る。さらには、福山市が取り組む「びんごデジタルラボ」との連携や、市が策定した「福山市デジタル戦略」に位置付けられているデジタル実装に向けた支援事業等の積極的な周知や活用を図る。

○デジタル化支援事業の推進

- ・小規模事業者等デジタル化支援事業
- ・デジタルツール座談会の開催
- ・サイバーセキュリティに関する啓発事業【新規】
- ・生成AI活用講座の開催【新規】

(2) 金融支援

売上・収益や財務体質の改善に取り組む小規模事業者を対象として、円滑な資金繰り支援を実施する。

また、新型コロナ関連融資の返済に加え、新たな経営課題に直面し資金繰りに課題を抱える中小企業・小規模事業者に対しては、引き続き動向を注視し、金融機関とも連携を図りながら適切な支援を展開する。

○小規模事業者経営改善資金（マル経融資）の利用促進

○日本政策金融公庫並びに金融機関との連携による金融支援

(3) 人材・人手確保と人材育成支援

①外国人留学生の地元企業への就職、採用を促す合同企業説明会、セミナー等を開催するとともに、外国人材の日本語能力向上の支援により、人材不足解消、生産性向上に資する。また、介護や育児など様々な事情を持つ労働者や、多様な考えを持つ労働者の雇用環境を整備するため柔軟な働き方への理解を深めるセミナー等を実施する。

○外国人留学生採用支援

○日本語能力向上支援

○外国人材確保支援事業

②福山市と連携し新卒・既卒者対象の就職ガイダンスやU I ターン合同企業説明会等の開催。東京商工会議所主催「会員企業と学校法人との就職情報交換会」への参加による、会員企業と主に首都圏の大学との情報交換の場の提供。また、(公財)産業雇用安定センターとの雇用対策協定に基づいて、当地域の雇用の維持や会員事業所の人材確保のための「雇用シェアマッチング」の展開。さらには、新規採用者の企業への内定辞退防止や定着を図るため、就職内定者等を対象としたセミナーを開催。また、地元企業の認知度向上や人材確保を目的として、高校の進路指導担当者対象の企業見学会、中高校生向けフィールドスタディプログラム「ローカス」等を実施し、中小企業・小規模事業者の人手不足解消に対し多面的な事業を展開する。

○若年者就労支援事業

○雇用シェア促進事業

○新規採用者の採用企業定着支援事業

○退職予定自衛官雇用に関する事業

○企業と学生の交流事業

○地元企業認知度向上事業

- ③地元企業の採用活動支援のために、市内大学と連携して就活生目線による採用情報や企業概要等の情報発信について、エフエムふくやまで「就活応援ラジオ～輝く地元企業で働こう！～」を放送する。また、各大学の就職状況や求人方法、出演学生の就活状況等意見交換の場を持つなど内容を充実させるとともに、当所SNS等も活用して広く発信する。

○就活応援ラジオ

- ④中小企業・小規模事業者の人材採用力の向上や若手・中堅社員のスキル向上、働き方改革関連法に伴い必要とされる労務管理対策の各種セミナーを開催する。また、傾聴力や雑談力等のビジネスコミュニケーション能力の向上を目的に「傾聴力養成講座」や企業の女性管理職や女性リーダーを養成することで職場の活性化を目指す「女性リーダー研修」を開催する。個別の課題については、福山地域中小企業支援センターに専門家の相談窓口を設け、課題解決を支援する。

○傾聴力養成講座【新規】

○女性リーダー研修の開催

○新入社員研修の開催

○働き方改革など人事労務に関するセミナーの開催

○若手社員研修、管理者研修の開催

- ⑤受験機会拡大に繋がる「ネット検定」を積極的に推進するなど、簿記検定試験をはじめとした各種検定試験の周知を図り、ビジネス実務能力を有する人材の育成を支援する。また、「福山商工会議所パソコン教室」の運営によりITスキル向上に寄与する。

○各種検定試験

- ・日商・東商検定のネット化の周知
- ・簿記検定試験への大学等での出前試験方式の実施

○福山商工会議所パソコン教室の運営

- ⑥企業の生産性向上や福利厚生の実施、人材確保等を目的に、生活習慣病予防健診等の実施やアクサ生命等と連携し「健康経営優良法人」の周知・普及に取り組む。

○健康経営普及促進事業

- ・健康経営の推進に向けたセミナーの開催
- ・健康経営優良法人認定申請のサポート
- ・生活習慣病予防健診の実施
- ・健康診断サービス（通年型）の実施
- ・PET-CTがん検診の会員特別割引サービスの実施

(4) 調査事業

事業者への有益かつ適切な情報提供の観点から、景気観測調査や各種調査を実施する。また、福山市内の景気観測調査では、付帯調査を企業が直面する諸課題をテーマとして設定することで、意見・要望活動や各種事業活動へ反映させる。

○広島県・福山市の景気観測調査の実施

○商工会議所早期景気観測（CCI LOBO）調査の実施

3. 都市魅力の向上

関係機関との連携を密に取り、地域資源を最大限活用した地域の活性化と産業振興に取り組む。

また、2025年に開催された「世界バラ会議福山大会」を機に、引き続き、MICE環境整備及び情報発信強化に取り組み、業界団体等の会合誘致の推進を図ることで、福山の観光・産業振興を含めた地域全体の経済の活性化に繋げる。

さらに、魅力ある中心市街地の形成に向けて、中心市街地活性化推進事業と当地域の賑わい創出やブランド創出につながる観光振興等に尽力する。

(1) 活気と賑わいのある都市空間づくりの推進

①福山市の顔である中心市街地の賑わいとエリアの価値向上のため、福山市中心市街地活性化推進事業を実施する。

特に、福山駅前の賑わい創出、回遊性向上に向け「OPEN STREET FUKUYAMA」を引き続き開催するとともに、当該エリアの価値向上に向けたエリアマネジメントに取り組む。また、ワークショップ等を通じて、エリアごとのまちづくりの方向性を探るとともに、まちづくり人材の発掘・育成、創業支援、空き店舗活用など、魅力ある地域づくりと継続的な事業を展開する。

○まちなかエリア魅力向上推進事業

- ・ エリアマネジメントの調査・検討（勉強会の開催、先進地視察等）
- ・ 商店街活性化・環境整備等まちづくり支援
- ・ 中心市街地ネットワーク強化連携支援

○まちなか賑わい創出事業

- ・ 歩道空間活用イベント「OPEN STREET FUKUYAMA」の開催
- ・ まちなかマルシェの開催
- ・ まちゼミ福山の開催
- ・ 継続的賑わい創出イベント（毎土市場、福山まるしえ等）への支援

○まちなか開業支援事業

市内中心部商店街の空き店舗調査の実施、新規開業者等と賃貸物件（賃貸人）とのマッチング

②経済波及効果や都市ブランドの向上に寄与するMICEの推進に向け、官民一体で設置された「福山市MICE推進協議会」へ参画し、産業分野に特化した戦略的なMICE誘致で「産業都市福山」としてのブランド構築を目指す「福山市MICE戦略」の推進を図る。

○福山市MICE推進協議会ほかへの参画

○福山駅前デザイン会議への参画

○福山駅前広場協議会への参画

③福山市が実施する地域の拠点づくりの一環として令和6年度に策定された、「松永周辺にぎわい再生ビジョン」に基づき組織された「松永未来会議」へ当所も参画し、福山市西部エリアの中心拠点である松永駅周辺の未来の姿（＝ビジョン）を描き、共有することで、再生、活性化に向けた役割を果たす。

○松永未来会議への参画

（2）地域資源の活用

①「備後福山ワイン振興協議会」の活動を核として、備後・福山産ワイン等のさらなる認知度向上、消費拡大、販路開拓に向けた取り組みの推進と、SNS等を活用した情報発信強化に努める。また、福山大学との共同研究により完成した、桜酵母を活用した新たな福山ワイン「さくら」の販売PR促進等に取り組む。さらに、備後圏域でのワイン振興の機運醸成に向け、備後圏域近郊のワイナリーを巡る体験型観光バスツアー等の実施・商品造成を推進する。

○福山ワイン振興事業

②福山の5つの伝統産業（福山琴、松永下駄、鞆保命酒、びんご畳表、備後餅）について、販路拡大、後継者育成、普及推進等総合的に支援することで、伝統産業の継承と業界の活性化へと繋げる。また、食、自然、歴史、観光資源などの地域資源と伝統産業を組み合わせた新市場の開拓及び戦略的な情報発信により、地域全体のブランド力向上と地域経済の活性化を図る。さらに、福山琴の知名度向上や新たな琴奏者発掘等を目的に、福山邦楽器製造業（協）と共同で開発した「新型福山琴2023」のPR、継続的な販路開拓等に取り組む。

○地域産業魅力発信事業【新規】

③福山市、（公社）福山観光コンベンション協会、当所を構成員として設立された「福山ビジットアソシエーション」において、観光客誘致、MICE誘致やその受け入れ環境整備、福山城や鞆の浦及びホロコースト記念館などの観光資源を中心としたユニークベニユーの情報発信及び活用を積極的に推進する。

○福山ビジットアソシエーションへの参画

・観光客誘致やMICE誘致及びその受け入れ環境整備・情報発信事業の推進

(3) 観光の振興

- ①「鞆の浦」や「福山城」を始めとした歴史的・文化的価値の高い観光資源や、ばら祭、夏まつりなどの地元を代表するイベントなど、地域の魅力を戦略的に発信し、福山の知名度、イメージの向上を図り、国内外からの観光客誘致につなげる。また当地域が誇る景勝地「鞆の浦」に、現代アートを展示する「鞆の浦 de ART」を実施し、地域の魅力発信と観光振興を図る。

○鞆の浦 de ARTの実施

○地域産業魅力発信事業【新規・再掲】

4. 産業の発展と潜在力の強化

備後圏域の中核都市としてふさわしい高次都市機能の集積や社会資本の整備・充実に向け、関係機関と緊密な連携を図り多様な活動を推進する。

また、当地域の特色であるものづくり産業の持続的発展に向けて、ビジネスマッチング事業や知的財産取得支援事業等、各種事業を積極的に展開する。

(1) 産業インフラの整備促進

福山道路の早期整備と未事業化区間新規事業化、神辺水呑線の早期整備に向け、「一般国道2号福山道路・神辺水呑線整備促進期成同盟会」への参画を通じて、提言活動のさらなる強化を図っていく。また、福山港箕島地区の「ふ頭再編改良事業」の早期事業完了のための予算確保や、福山港国際コンテナターミナルの利用促進施策の継続・拡充、クルーズ客船誘致による観光振興策、カーボンニュートラルポート形成などについて、引き続き積極的な要望活動を実施する。

○「一般国道2号福山道路・神辺水呑線整備促進期成同盟会」への参画【再掲】

○福山港内港地区埋立促進に関する要望活動【再掲】

○広島県東部港湾振興協会並びに福山港部会・松永港部会の運営

(2) 取引先拡大による販路の開拓推進

- ①企業間の交流や情報交換によるビジネスチャンスの発掘を目的として、「ビジネス交流フェア」を開催する。また、商工会議所間のネットワークを生かし、他地域で開催されるビジネス商談会や展示会等へ出展・参加し、事業者の販路開拓を支援するなど、ビジネスマッチング事業を推進する。さらに、商談会等への出展に向けた勉強会やセミナーを開催し、事業者のレベルアップと商談機会の創出に取り組む。

○CCIネットワーク出展支援事業【新規】

○ビジネス交流フェアの開催

○ビジネスネットワーク推進事業の実施

○広島県下請取引連携商談会への参画

(3) 経済交流の促進

- ①福山、北九州、倉敷、姫路、松本の、各県の第2都市、工業都市、歴史的建造物があるなどの類似する特色がある都市の5商工会議所で構成する「広域都市連携」に参画し、「各地の課題や取り組みに係る情報共有」「産業振興（ものづくり・まちづくり・にぎわいづくり）」「企業間の交流、連携促進」「商工会議所運営」「災害時等の相互協力」について、意見交換、先進事例の共有をはじめ、展示会やビジネス商談会等への相互参加、合同視察研修会の実施など事業連携に取り組む。

○広域商工会議所交流促進事業

- ②令和6年10月に覚書を締結したリトアニア共和国カウナス商工会議所と経済・教育・文化等の交流を促進し、経済交流の一助とする。また、マウイ日本人商工会議所との友好提携に基づき、訪問団派遣など相互交流を促進する。

○リトアニア共和国カウナス商工会議所との交流

○マウイ日本人商工会議所との交流

○国際交流の推進

- ③全国516商工会議所とのネットワークを生かし、地域の特性や課題に即した取り組みを調査し、当所事業への反映と事業者間の交流を促進し、ビジネスネットワークの構築・強化を図る。

○会議所間交流促進事業【新規】

(4) 中小企業の海外展開支援

- ①（独）日本貿易振興機構（JETRO）や（公財）ひろしま産業振興機構国際ビジネス支援センター等の各種国際経済団体との連携により、情報提供、各種セミナー・研修事業を行い、企業の海外展開等を支援する。

○国際ビジネス研究会の運営

○JETRO等との連携強化及び海外ビジネス・貿易相談事業の充実

- ②非特恵原産地証明・サイン証明・インボイス証明の発給及びEPA（経済連携協定）に基づく特定原産地証明などの貿易関係証明の発給を通して、地域企業の海外取引等の支援を行う。

○特定原産地証明発給に係る日本商工会議所福山事務所の運営

○原産地証明並びに海外取引に関する証明書の発給

(5) 知財相談事業の推進

当地域中小企業のものづくり技術の向上、競争力と経営基盤の向上に資することを目的として、知的財産に係る相談機能の強化や知的財産取得支援等に取り組む。

- 広島県中小企業知財支援センター福山サテライトの運営
- 知的財産権取得支援事業の実施
- 備後知財経営研究会の運営
- 広島県発明協会備後支会の運営
- 備後地区生徒児童発明くふう展の開催
- 福山少年少女発明クラブの運営

5. 組織運営基盤の強化と会員サービスの充実

当所運営の基本である部会・委員会活動の活性化を図り、会員事業所の生の声の収集に努め、会員の声に基づいた事業活動を展開するとともに、会員サービスの充実に努める。また、2029年の当所創立100周年を見据え、基本方針である「持続可能な福山商工会議所の構築」に沿い、当所の活動拠点である会館の施設・設備の老朽化問題については、引き続き「福山商工会議所会館再整備特別委員会」において検討する。また、当所の各種事業は国連が定めた持続可能な開発目標「SDGs」(Sustainable Development Goals)との親和性も高く、今年度も引き続き、基本方針に、「SDGs17の目標を見据えた事業や活動の展開」を掲げた。地域総合経済団体としてSDGsに掲げる理念を推進し、地域の発展に資するためにも、足元である当所組織運営体制の強化を図る。

当所の持続的な運営の基盤となる会員の増加に向けて、事業・活動に対する理解と賛同が得られるよう、情報発信機能の強化を図るとともに、引き続き、議員・職員一体となって会員増強運動に取り組む。

また、財政基盤の充実・強化に向けて、各種共済・保険事業の積極的推進、当所会館のテナント入居並びに貸会議室の利用促進を図る。

さらに、会員満足度の向上に向けて、既存の会員サービス事業を検証する中で、事業内容の向上を図るとともに、福利厚生サービスの充実と積極的な推進に努める。

(1) 組織の充実

- ①組織運営基盤強化のため議員・職員一丸となり、会員増強運動を積極的に展開する。

○会員増強運動の推進

- ②インターネット、SNSを活用しタイムリーな情報発信や、動画を活用した情報発信を行い、会議所活動の広範な周知と会員の利便性向上に取り組む。

○インターネットを活用した情報発信力強化事業

- ③正副部会長懇談会の開催や、正副部会長・委員長との緊密な連携による活動を展開し、会議所活動の活性化や提言・要望活動に繋げる。

○部会・委員会活動の活性化

④会員及び特定商工業者のデータ管理及び活用により、当地域の経済振興に役立てる。

○会員台帳並びに特定商工業者法定台帳の作成・管理及び運営

(2) 女性会活動

○子育て支援事業の実施

○例会、研修会、視察会等の実施

(3) 青年部活動

○地域活性化イベント「福山城下冬まつり」等の開催

○若手起業家育成事業「ジュニアエコノミーカレッジ」の実施

○例会、研修会、視察会等の実施

(4) 会員サービス事業

①会議所活動の理解と周知、会員間相互の交流促進、時機にあったテーマ選定を行い、新たなビジネスチャンスの創出並びに販路拡大に資する会員交流会の充実を図る。

○会員交流会の充実

②会員事業所の福利厚生の実施並びに当所財政基盤の強化に資するため、当所独自の「福の山共済」の加入促進を図る。また、会員事業所の経営管理上のリスク対策の一環として、事業承継、相続、自社株対策などについて、専門家を招聘してのセミナー「共済フォーラム」を実施する。

○生命共済制度「福の山共済」の加入推進

○特定退職金共済制度の加入推進

○広島県中小企業共済（協）の火災共済をはじめとした各種共済制度の加入推進

③事業活動を行う上での様々な賠償責任や事業休業リスクを補償する、日本商工会議所の団体保険制度の加入促進を図り、企業の事業存続を支援する。

○企業防衛に役立つ団体保険制度の推進

(業務災害補償プラン・ビジネス総合保険制度・休業補償プラン・中小企業海外PL保険制度)

④創業周年に該当する会員事業所及び会員である事業所に永年勤続し、功績顕著な従業員等の表彰を行う。また、創業・開業月に送付する会員之章により、事業継続のモチベーションの向上及び当所事業のPRに繋げる。

○創業永年会員・優良従業員表彰事業の開催

○創業・開業周年会員之章カードの発行

- ⑤会報誌「商工ふくやま」や記者会見の場を活用し、会員事業所の新商品や新サービス等の情報発信の支援を積極的に推進する。
- 会報誌に加え、ホームページ、F C C Iライナー、エフエムふくやま放送番組「ハロー！商工会議所」など、あらゆる広報媒体を駆使し、会員事業所の役に立つ情報提供の充実に努める。

○会員事業所向け広報活動

- ・会報誌「商工ふくやま」の発行
- ・エフエムふくやま放送番組「ハロー！商工会議所」
- ・ホームページ
- ・ F a c e b o o k
- ・ Y o u T u b e

- ⑥その他会員サービスに繋がる事業の実施

- ザ・ビジネスモールの利用促進
- 会員限定WEBセミナーの実施

(5) 運営基盤の強化

- ①老朽化する商工会議所会館の再整備について、現下の状況を踏まえ、必要な機能の整備などについて最適な選択を行うため、コンストラクションマネジメント会社を活用、地域社会に貢献する会館の再整備を目指す。

○商工会議所会館再整備

- ②商工会議所会館を適切に維持管理し、テナント誘致、貸会議室利用の促進を図り、財政基盤の強化に資するとともに、適正な施設整備を図ることで、研修・セミナー、展示会・見本市・商談会などで中小企業・小規模事業者の利用を促進し、地域経済の活性化に資する。

- 会館の維持・管理
- テナント誘致活動の推進
- 貸会議室の利用促進

《持続可能な地域の構築を見据えた事業展開の指針》

当所の事業はSDGs 17の目標との親和性が高く、引き続き各種事業活動の指針として事業を展開していく。とりわけ次世代を担う子ども、若者が当所の活動に積極的に参加する仕組みを構築し、「地域」との関わりを様々な形で「体现」することで、地域活

性化の取り組みが世代を超えて繋がるものとし、持続可能な地域社会構築の担い手を育成する。

◆次世代の育成支援【新規】

多岐にわたる商工会議所の事業活動や、各種団体との連携を図ることで、国際交流、地元企業の見学、伝統産業の振興、地域活性化事業など、小・中・高・大学生が様々な形で商工会議所のミッションに関わる機会を提供し、子ども・若者が「地域との関わり」や「職業の選択」を考える際の手がかりや原体験を作り、地域活性化を担う次世代を育成する。